

地域にはばたく市民パワー！

ところざわ倶楽部「広場」

所沢市民大学修了者の会 広報紙

2010年12月号(第34号)

発行責任者 加曾利 厚雄

考えよう !! ところざわ倶楽部の運営

会長 加曾利 厚雄



昨年1年間理事をやってみた感想は、“理事会と会員が乖離しているのではないか”ということでした。前年度の事業への参加率が37%という数値がこれを物語っています。会員のかなりの方は、サークルで活動が十分できているので「ところざわ倶楽部なんて必要ではない」何のためにあるのだろうかと思っているのではないのでしょうか。

私は、第1に、倶楽部の事業は、会員(サークル)と協働で行うことが、解決の鍵となると思っています。第2に、ところざわ倶楽部の特徴を活かすことが大切と考えています。ところざわ倶楽部には下記の3つの特徴(強み)があると認識しています。この特徴を活かすことができれば、発展するし、出来なければ衰退(崩壊)すると考えて、倶楽部運営をしていきます。

<ところざわ倶楽部の特徴>

1. 人数が多いこと。会員の増える可能性が高いこと。収入が増えるので、いろいろなことが出来る可能性があります。但し理事会が知恵を出さないと多くの問題を抱えることとなります。
2. 人材が豊富であること。人数が多いから人材がいるのではなく、市民大学卒業生だから人材がいるのです。人材を活かせるかどうかが理事会の課題です。
3. 多岐にわたったサークルが15もあること(芸能・音楽・自然・歴史・地方自治・農業・環境問題など)この中で、更なる「学び・遊び」が期待できることです。

<特徴を踏まえた4期ところざわ倶楽部の活動指針>

1. 主に、サークル活動を活かした事業、サークルと理事が一体化した事業展開を行う。会則改訂の趣旨に沿い、サークルも理事会を助けるし、理事会もサークルを助ける。(事業部)
2. 会員が倶楽部の事業計画に参加する、参加できる体制を構築する。(事業部)
3. 倶楽部の広報活動を見直す。広報担当理事に加えて、編集委員を公募して幅広い広報活動を展開する。会員の情報、サークルの情報、理事会からの情報など、投稿しやすい雰囲気作りを行う。(広報部)
4. 「ところざわ倶楽部ホームページ」を開設する。会員との双方向の情報発信を促進し、地域にタイムリーな情報を提供することを具現化する。(広報部)
5. 理事会各部は、相互に協力し助け合うことを基本として進め、基本となるデータは共有するものとして、各部のデータはUSBメモリーで残す。(総務部)

理事会が会員に近づくことも大切ですが、皆さんがこの指針に乗ってくれることがもっと重要です。

ご意見、ご提案あればいつでも連絡下さい。受け入れて検討します。



- 23年度政策の発表 -

新春事業企画第1弾 「サークル紹介とアンコール講演」開催！



ところざわ倶楽部 23 年度新春講演会に、揺れ動く中国問題 14 期講義で人気を博した羅欽鎮先生アンコール講演！

1) 日時:平成23年1月17日(月)

13時15分～16時(12時45分) 受付

2) 場所: 所沢市立小手指公民館別館

小手指駅南口徒歩 7 分 ☎04-2948-87803

第一部 サークル紹介

・新サークル紹介

17 期生が立ち上げた音楽連市民大学派

・今までのサークルの説明

第二部 アンコール講演会 「どうなる日中関係」

中国の台頭によって、第二次世界大戦後確立されてきた現在のアメリカ主導の国際政治秩序は、挑戦を受

けています。中国に近く、歴史的にも関係が深い日本もこのグローバル的変動の渦中にあります。

日本は日米同盟の堅持、強化と東アジア共同体建設というジレンマにあります。このような中で尖閣諸島を巡る諸問題が起きています。今起こっている問題は我々には理解しにくいのではないのでしょうか。

これから我々はどうのように向き合えばいいのか、市民大学 14 期で教えていただいた懐かしい羅欽鎮先生からお話を頂きます。

・主催 ところざわ倶楽部(市民大学修了者の会)

協賛サークル アジア研究会

・問合せ先 渡邊 浩平 2924-9674

加曾利厚雄 2939-2308

池田新八郎 2940-0711

第一回理事会報告

理事会と各サークルとの強い連携を！

◇ 日時: 11月9日(月) 10:00～12:00

場所: 新所沢コミュニティーセンター別館

11月5日の総会を受けて、第4期新理事13名出席、第1回の理事会が開催されました。4期目を迎えたところざわ倶楽部は、あらゆる面でターニングポイントの年を迎えており、多くの課題をかかえています。今年倶楽部はサークル活動を主体とする事業方針を打ち出しましたが、加曾利会長は理事会と各サークルとの連携の重要性を強調しております。

★ 総務部 海老沢部長

理事会開催日時は毎月第2月曜日。会議は新所沢東公民館をメイン。資料配布、連絡は各サークルで行う。

★ 事業部 渡邊(浩)部長

年次事業計画、1月羅欽鎮先生講演報告。福祉バス利用(所沢市)の検討。生涯学習センターとの連携を深めていく。

広報部報告

広場編集体制の強化！

市民大学が2年制(14期より)になって5年、ところざわ倶楽部も今年17期生が加入し、現在242名の会員がいます。ところざわ倶楽部の理念とする「学びを地域に生かす」という活動も徐々に定着しつつあります。広報部はところざわ倶楽部がより大きく羽ばたける場であると共に、会員の皆さんがより楽しい、豊かな人間関係が保たれる拠り所となる場である様、努力して行きたいと考えています。その為に情報の伝達機関である広報は大切な役割があると考えています。今までは個人の力に頼っていましたが、組織が大きくなるとともに、今後は団結力が求められます。

広報部は今年二つの目標を掲げています。一つは『広場』の紙面を変えてより読みやすく、ニーズのある編集をすること、2番目は「ところざわ倶楽部ホームページ」をぜひ開設したいと考えています。

数人の方に編集協力を御願ひしていますが、是非皆様のご協力を御願ひ致します。お互い批判しあうより、協力し合う事がより意義あることと考えています。

(広報部 池田)

サークル活動計画

■興味がある活動には、他サークルの方も参加して見ませんか。
■参加希望者は代表者に事前に必ず電話して下さい。

ダースの会 [斉藤昌宏 2998-0406]

12月11日(土) 赤穂浪士引揚げ道を歩く
12月15日(水) 定例会・学習会歌舞伎「DVD鑑賞」
1月5日(水) 定例会・学習会
1月19日(水) 国立演芸場鑑賞会

アジア研究会 [黒見徳美 2995-4290]

12月15日(水) 総会 午後15時～17時
場所/ 新所沢コミュニティーセンター別館
※ 終了後忘年会を行います。
1月19日(水) 定例会

傍聴席 [高垣輝雄 2926-7164]

12月13日(月) 15時より 定例会・忘年会予定
場所: 新所沢コミュニティーセンター別館
☆ 所沢市公報・ブログ情報・ところざわ倶楽部との
共催事業他ミーティング

楽悠クラブ [甲田和巳 事前連絡は不要]

★12月15日(水) 13:30～(場) 中央公民館
① 総会 ② 歌劇「アイダ」DVD鑑賞
★ 1月18日(火) 13:15～(場) 中央公民館
・映画「菩提樹」DVD鑑賞

地球環境に学ぶ [塚本二郎 2942-3117]

12月21日(火)15時～ 新所沢コミセン別館5号
定例会、本年度活動計画の作成
その後、新旧メンバー歓送迎会を兼ね忘年会
1月18日(火) 15時～ (定例会予定)

地域の自然を考える会 [海老沢 2922-0259]

12月14日(火) 水鳥を中心とした探鳥会
西武球場前 9時集合 引率: 14期堀井先生
持ち物: 弁当、双眼鏡、その他必需品
サークル会員以外でも奮ってご参加下さい。

公園を楽しむ会[加曾利 2939-2308]

12月17日(金) 14時(金) 14時～生涯学習推進セン
で会員の志村さんのヒマラヤ登頂記をDVDとパワーポ
イントで行います。終了後忘年会を行います。1月6日(木)
谷中七福神めぐりと新年会を行います。

地域の自然 [加茂恵三 2944-6554]

12月4日 落葉堆積場修理と植生調査9:00～12:30 早大
12月19日 WABOC 棚田の畦作り 10:00～13:30 早大
12月18日 植生調査と忘年会 9:00～12:30 早大
1月15日 落葉かき 9:00～12:30 早大

所沢の自然と農業 [渡部登 2949-9432]

12月7日(火) 奥武蔵むかしみちハイキング
12月11日(土) 関谷農園下草刈り
12月12日(日) 峰岸農園応援
12月14日(火) 峰岸古民家で忘年会

歴史散策クラブ [大河原功 2943-2004]

12月16日(土)総会 15:00～17:00
場所: 新所沢コミセン別館
※ 総会終了後、忘年会 17:30～場所: たつみそば
1月5日(水) 初詣・久米の水天宮様・集合時間未定

ドラマティック・カンパニー [梅本 2926-8723]

今月から「リチャード三世」朗読を再会します。
活動日(土) 12月4日、25日/時間=10:00～12:00
場所=新所沢コミュニティーセンター別館
※ 25日の活動終了後、正午より忘年会を開催します。

葵の会 [池田新八郎 2940-0711]

1月13日(木) 定例会 午後13時30分～
場所/新所沢コミュニティーセンター別館
テーマ/古典講座 講師/小川達雄先生
源氏物語 第2回

野老澤の歴史をたのしむ会 [嶋崎 2948-7331]

☆ サークルの総会を開催します。
開催日時/ 12月16日(木) 午後2時30分
場所/生涯学習推進センター101号室
終了後懇親会を希望者にて“むらやま”を予定。

北欧の会 [樋口俊夫 090-6483-7993]

1月15日(土)第19回例会 13時20分～
北欧から学びたいこと(スウェーデン)
2月19日(土) 第20回例会 DVD鑑賞
場所/新所沢近辺公民館

遊ぶ！ 学ぶ！ サークル活動レポート

気象変動と地球の温暖化

地球環境に学ぶサークル (11月11日)

講演 (市役所8階大会議室にて)

講師 気象予報士 高田斎氏



暑さ寒さの体調管理のためには、気象環境の変化に関心を持つ事が大切です。所沢の気象は熊谷気象台のニュースと大体一緒に85%は当たっています。

所沢の今夏の平均気温は28.1度でこれは沖縄と同じです。9月の最高気温は35.3度にまでなりました。

<暑さの三冠王>

年	猛暑日	真夏日	熱帯夜
今年	19日	71日	15日
近年	16日	62日	6日
平年	3日	38日	2日

雨については、最近スコール型で強い雨が多いようです。都心では、50~80mmまでは、下水管で処理できますが、これ以上になるとアスファルトが多いので、洪水となってしまいます。

全国的に、暖かい方向に向かっていますので、植物などにも影響が出ています。例えば、関東の桜の開花については、従来4月初旬が2月末に開花するなどしています。九州方面では11月の紅葉が12月に移っています。地球温暖化のスピードがさらに早まることが予想されるので、節水、省エネ、節電、リサイクル、植林など「もったいない」の精神で進めて欲しいし、地球を守るのは「一人ひとりの一歩から始まります」と締めくくられました。

(富川ナツ子)

「ところざわ倶楽部広場」編集者募集！

広報部では、「広場」、「ホームページ」の編集に関心のある方を募集しています。ご興味のある方は積極的にご連絡下さい。お待ちしております。

連絡先/ 池田 (広報部) ☎ 2940-0711

ネパールヒマラヤ ダンプスピーク登頂記

アジア研究会 (11月17日講演会)

講師 志村喜八氏 (会員)



毎回議題を決めてアジアの仲間として「アジアを皆で学んでいこう！」がアジ研のモットーです。

11月は一昨年カラコルム山脈、スパンティーク(7027M)登頂に続き(昨年ところざわ倶楽部で講演)、今年9月19日から約1ヶ月かけてネパールのダンプスピーク(6012M)を制覇した会員の志村喜八さんに貴重な体験談を聞きました。当日は会員だけでなく志村さんの登山仲間、知人も参加、30人以上(アジ研初)も集まる大盛況でした。

志村氏が撮影した写真を、プロジェクタを使って説明を受け、壮大で美しく聳えるダンプスピークや山々の景色に感動しつつ、この山を制覇する志村さん達登山隊(東京都勤労者山岳連盟)の苦労、熱意とは何だろうと考えさせられました。志村さんはもう70歳をすぎたそうですが、本人は「一定の体力と経験があれば登れる山である。高所登山のため登ったり、元に戻ったりし、身体を慣らしながらの登山になります」とおっしゃるのだが……。今回使用した登山用具の使い方等現物を見ながらの話も興味津々で、皆さんいろいろ質問していました。

アジ研としてはネパールの国柄も興味あるところですが「ネパールは多民族、多宗教の国で山岳地帯が多いため、車も入らない地域があり、貧富の格差があるようだ！」との事でした。サダー、ハイポーター、キッチンボーイ、ポーターの話、民話や、伝説の話などもあるそうで、時間の関係で聞けなかったのは残念。またの機会に是非聞きたいと思います。

見るからに朴訥で、とつとつと語る志村さん、木工細工、スケッチ等趣味も豊富です。まだまだ若いと自負し、山に掛ける情熱は衰える事を知らない。好々爺、山男志村さんの今後の活躍にエールを送りたい。

(記 池田)

埼玉県指定史跡 滝の城址 と

国指定重要文化財 黄林閣 (柳瀬荘) の散策

野老沢の歴史をたのしむ会 藤澤豊彦

私どもの月例行事で 11 月は標記コースの散策を試みました。限られた紙面なので、せめて散策した時のポイントなどをご参考までにあげてみましょう。

まず「滝の城跡」では、その故事来歴よりも城郭そのものの現状等を知りたく、地元城域内に在住の「滝の城跡保存会」会長 新井利夫氏に案内していただくことができたことは幸いでした。

城のまわりをご案内いただくこと 2 時間余り、本丸を囲んで造られた土塁・空壕・物見櫓跡が昔のまま比較的よく残されていました。(険しい山道で足腰に自信のない場合は負担が大きく要注意)



—新井会長のご案内—

滝の城は室町時代後期、八王子の城主北条氏照の支城で 87,000 m²の城域をもち、当時は今の東所沢辺りまであったようで、市内の城館跡では最大級の規模。この「滝の城」という名称は、城跡の東側に小さな滝があって、滝自身も防御施設としてのはたらきをもっていたことから付けられたといわれています。併しながら、現在では、東所沢地区が開発されたこと、更に武蔵野線の開通工事などにもとない、水源が殆んど断たれてしまっているそうです。

城は、南側の柳瀬川と北側の東川(あずまがわ)に挟まれたところに位置し、遺構から柳瀬川の河川敷との比高差が約 25m、断崖の傾斜角度が約 40 度もある崖の突端部分に本郭(ほんくるわ)を置いて(現在の城山神社のあるところ)、二の郭(くるわ)・三の郭(くるわ)、そして、空堀(からほり)・土塁・平場・櫓台跡など外郭(そとくるわ)施設が台地の奥で取り巻くように「同心円(どうしんえん)かこい」郭型(くるわかた)に築かれている平山城であることがわかります。



—滝の城址の模型—

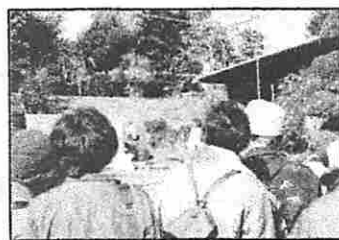
築城者については不明ですが、正平 11 年(1356 年)に入間・多摩の 13 郡を足利幕府から領地として与えられた武蔵目代(もくだい)(国主の私的代官)の大石氏が江戸城・河越城(川越)・岩付(岩槻)城などを警戒して防衛強固な城を築いたもので、その後、北条氏照の持ち城になったと考えられています。



柳瀬川河川敷に降りて下から城塞を見上げてみると、さすがにこの城の堅固さが実感されました。また周辺の民家の軒先に当時のままの高さ 3 m ほどもある土塁が現存しているのには驚かされました。こんな

土塁が郭の周りを囲っていたことなどは、説明がないとわかりません。

現在は全域が密林に覆われているのを見て、これでは当時の銃器(弓・刀・銃等)ではとても難攻不落だと思いついておりましたが、火攻めに弱いのではと気づき、後日、会長さんに伺ったところ、「当時は赤土むき出しの要塞だった」とか、生涯学習推進センターの 3 階に置かれている「滝の城跡の模型」(滝の城跡保存会の寄贈)の謎が解けました。



—民家の軒先に残る土塁—

また、この地域は殆んどが城山神社や地元住民の所有地で、現在の「城山神社」は所沢市の柳瀬公民館建設時の用地買収資金で建設されたとか、巨額の資金が投入されただけに豪華で立派な社(やしろ)、



—城山神社—

その運営は氏子一同で営んでいるようです。また、地元住人の皆さんのご先祖を尋ねてみたところ、滝の城は天正 18 年(1590 年)豊臣秀吉の小田原攻めによって落城、その後は廃城となり、城に関係する者は全て敗走してしまつたこと。また、昭和 5 年に発掘調査された滝の城跡横穴墓群は 7 世紀頃のものなので、城の関係者の末裔ではなく、皆さんのご先祖は更に大昔の有史以前になると思うと言っていました。まさに国破れて山河ありの情感を覚えました。

滝の城跡から歩いて約 30 分、柳瀬荘に到着。柳瀬荘は我が国「電力事業の祖」といわれた実業家松永安左衛門氏の別荘だったもの。なかでも重用文化財「黄林閣」は東久留米市柳窪に天保 15 年(1844



—黄林閣—

年)に大庄屋の住居として建てられたものだけに、格調高い大変に豪華なもので、その特徴は、一般的にみられる古民家・農家建築の「4 間取(まどり)」と違い、代官や役人を接待する必要から、儀礼的な部屋まで設けられた「9 間取(まどり)」という多室間取りになっていること。また、「斜(しゃ)月亭(げつてい)」は昭和 13 年から 14 年にかけて奈良東大寺や当麻寺などの古材を用いて造られたもの。「久木(きゅうぼく)庵(あん)」は江戸時代初期に千利休の孫の千宗旦が設計したもので、宗旦の三人の子供による所謂 三千家(武者小路千家・表千家・裏千家)の成立以前に建てられものであることに今日的な意味があると思いました。



—久木庵—

とこフォーラム

明るく元気に楽しく、そして豊かに

島川 謙二

昨年の総会当日はオバマ大統領の車とニアミスした私でした。カエサル流に言えば『行った。聞いた。失望した』総会でした。(×。×) たとえば議事次第で報告と議案とをつづけてだらだら説明しました。報告は承認事項であり、議案は審議して賛否を問う事項ですから峻別すべきです。議事進行の基本です。新会長はところざわ倶楽部の強みとして会員の多いこと、優秀な人材、多様なサークルの3つをあげていました。私は会員の多いことは『諸刃の剣』だと思います。会員の多いことは求心力が弱くなるマイナス要因でもあるからです。『継続は力なり』ですが、楽しければ続きます。まず、楽しい事に注力すべきです。『明るく元気に楽しく、そして豊かに』です。ところざわ倶楽部の目的の高い理念は、楽しいだけでなく少しでも自己実現により充実したものを求めて行こうとする決意表明です。企画部を無くしたのは問題で、企画機能は極めて重要です。課題に優秀な人材を活かすにはプロジェクト・チームで対応するしかありません。議論も無く中途半端な総会、多様化する会員のニーズ、

ところざわ倶楽部は創立以来の分岐点に立っています。ワイガヤで楽しく議論するチャンスにしたいものです。

イベント予告

1000人落葉掃き大会開催!

所沢の自然と農業

三富の自然を守る「三富ネット」会員1000人突破を記念して「1000人落葉掃き大会」を下記日程で開催!

日時:平成23年1月29日(日)9:30分~15:00

場所:所沢下富 横山農園平地林 現地集合

持参:昼食 飲み物 タオル 敷物

服装:長靴 帽子 軍手 マスク

※詳細は新年号で告知します。



落ち葉掃き風景

文芸コーナー

石神井公園吟行

むさしの俳句同好会

むさし野俳句同好会は、十一月十六日(火)に石神井公園への吟行を行った。日頃、句会に参加している二十一名中十四名の参加であった。会としては、発足間もなくの三月に国分寺駅前の殿ヶ谷戸公園に吟行して以来の二回目の吟行であった。

当日の天候は晴、風もなく吟行には最良の日和であった。石神井公園に十時に集合、各人が思い思いに石神井池、三玉寺池、石神井城址、浮見堂、照姫の塚、沼杉(ラクウショウ)、曙杉(メタセコイア)、見ごろであった紅葉狩りを楽しみつつ公園を散策し昼食後、句会を行った。句会は、散策した開放感もあつてか盛り上がり一日楽しく過す事が出来た。

石神井公園吟行抄

重ね伏す 葎の中より 冬芽かな	鈴木 征子
沼杉に 枯蟻の しがみつ	海老澤愛之助
神の絵か 水に紅葉や 石神井池	岡本 詔一郎
水面に Vの字作り 鴨一羽	岡本 博
散る紅葉 柵(しがらみ) 集め 花となる	奥富京子
玄冬や 古木かしづく 姫の塚	小林 典子
照姫の 衣に染まる 紅葉かな	佐藤 八郎
鴨浮くや メタセコイアの 影分けし	高梨 千代
黄葉す メタセコイア が空を染め	高光 泉
尋ねきて 先づ荻の穂の 白さかな	田中 溢子
冬紅葉 緑ありてや きわめれり	中村 直子
紅黄色 光に透けて 天高し	平栗 彰子
かさかさ と 落葉の音や 池辺り	飯泉 陽子
釣人は 煙草燻らせ 冬うらら	井出 昇